

節	節名称 (基本方針)	細節	細節名称 (個別戦略)	現状	目指す未来 (特に期限の記載がない場合は、計画満了時)	細々節	細々節名称 (個別戦略の詳細)	スケジュール 検討: 検討、調査、準備など 整備: 導入、策定、工事など 継続: 現状維持で実施 拡大: 拡大して実施					
								R4	R5	R6	R7		
第1節	「行かなくても"できる"市役所」を目指します	1	行政手続のオンライン化の推進【重点取組】	行政手続のオンライン化が一部の手続に限られており、市民等は平日に市役所に行って手続しなければなりません。	市が行っている全ての行政手続についてオンライン化を検討し、市民等にとって利便性の高いものについて行政手続のオンライン化を実現します。	1	行政手続のオンライン化の推進	整備	拡大	拡大	継続		
			2	マイナンバーカードの普及促進、利活用の推進【重点取組】	マイナンバーカードの保有率が40%程度となっており、マイナンバーカードで利用できる手続も限られています。		ほぼ全ての市民にマイナンバーカードを歩き渡らせて、市民にとって利便性の高いマイナンバーカードを用いる手続を、検討した上で導入します。	1	マイナンバーカードの普及促進、利活用の推進	拡大	拡大	拡大	拡大
			3	セキュリティ対策の徹底【重点取組】	市の情報セキュリティポリシーが、現在のデジタル化の進展に対応できていません。 市が、どのようなセキュリティ対策を行っているか、市民に伝わっていません。		情報セキュリティポリシーを整備し、市役所のセキュリティ・インシデントをなくすことで、市民の安心と信頼につなげます。 令和6年度までにセキュリティ監査制度を導入し、セキュリティの強化を図ることで、セキュリティ運用の見える化を実現します。	1	セキュリティ対策の徹底	整備	継続	継続	継続
第2節	「デジタルを活用した業務効率の高い市役所」を目指します	1	ガバメントクラウドへの移行【重点取組】	全ての市区町村は令和7年度までに、住民基本台帳、個人住民税などの標準的な業務システムについて、国が整備する共通のガバメントクラウドへの移行を行う必要があることから、検討を行っています。	令和6年度にガバメントクラウドへ移行することで、業務システムの効率性向上とコスト削減につなげます。	1	ガバメントクラウドへの移行	検討	検討	整備	整備		
			2	徹底した業務プロセス見直しの推進	業務手続の効率化について全庁的な検討が行われておらず、また、活用できるデジタル技術についても知識が不十分です。 デジタル化に伴う関連例規の整備については、業務担当課が行っています。		デジタル技術を活用した業務の見直し事例を庁内で情報共有し、各課の実証実験などによる成果を他業務に応用するなどして、業務プロセスの改善サイクルを確立します。 プロジェクトチームによる関連例規の整備を行うことで知見を蓄積し、各業務分野においてデジタル化に伴う例規整備に適宜対応します。	1	業務プロセスの見直し	検討	整備	拡大	拡大
			3	AI・RPAなどのデジタルを活用した業務効率化の推進【重点取組】	AI・RPA等の知識が不足しており、一部業務への適用にとどまっています。 公文書管理について、ペーパーレス化がなかなか進みません。 テレワークやWeb会議の活用が一部の職員にとどまっています。		AI・RPAに適合する業務の選定及び導入を行い、業務効率化の見通しを立てることで、市民一人一人へのサービス向上と、職員等の事務負担軽減につなげます。 紙ベースの公文書を電子文書管理とすることで、検索性の向上と、文書量の削減による書庫保管スペースの20%以上の削減を実現します。 職員の30%のテレワーク業務化を行い、多様な働き方と業務継続を実現します。	1	AI・RPA等の活用による業務効率化	検討	検討	検討	整備
			2	ペーパーレス化の推進	2		ペーパーレス化の推進	整備	拡大	拡大	拡大		
4	災害対策	災害時に稼働する機器類に老朽化が見られます。また、災害時に使える情報手段が限られています。	災害時等に稼働可能な業務システムを整備し、安定的な業務継続を実現します。	1	災害対策	検討	整備	継続	継続				

節	節名称 (基本方針)	細節	細節名称 (個別戦略)	現状	目指す未来 (特に期限の記載がない場合は、計画満了時)	細々節	細々節名称 (個別戦略の詳細)	スケジュール 検討: 検討、調査、準備など 整備: 導入、策定、工事など 継続: 現状維持で実施 拡大: 拡大して実施			
								検討	整備	継続	拡大
第3節	住みやすい矢板のために「市民生活のデジタル化」を促進します	1	市民に対するDX支援	市民がデジタルのことで困ったときに相談できる窓口がなく、相談に対応できる人材が不足しています。	市民向け「お悩み相談室」を設置し、市民の困りごとについて、デジタルを使った解決事例を創出します。	1	市民が相談できる場の仕組みづくり	検討	整備	継続	継続
				市民それぞれのニーズに応じた情報発信が難しく、所管課単位の画一的な発信となっています。	令和5年度までに防災行政無線、HP、SNS、やいたぶ、電子メール等の情報発信のあり方を見直し、市民のライフスタイルに応じた適切な情報提供環境を実現します。	2	市の情報発信の充実	検討	検討	整備	継続
		2	暮らしのデジタル化の促進	市民のニーズに応じたポイント事業や地域通貨などの検討については、未着手です。	ポイント事業や地域通貨などについて、各関係者と協議・検討し、矢板市に最適な事業の制度設計を行います。	1	ポイント事業や地域通貨などの検討	検討	検討	検討	整備
				市民生活に影響の大きい医療や福祉分野のデジタル化について、市ができることの検討段階です。	医療・福祉従事者等に対し、デジタル化に関する情報共有及び可能な支援を行います。	2	医療・福祉分野のデジタル化	検討	検討	整備	継続
				市民のデジタル化に関する課題や支援策について、現状把握が未着手です。	市民が直面するデジタル化の課題について把握し、情報共有及び可能な支援を行います。	3	その他暮らしに係るデジタル化	検討	検討	整備	継続
		3	社会実装を目指した各種実証実験の推進	移動手段や高齢者の見守りなど、市民生活の問題でデジタルが活用できそうな課題について、未着手です。	人口減少や少子高齢化が進んでも、デジタル活用により生活基盤の維持や、発展可能な環境を目指します。	1	実証実験による生活基盤のデジタル化検討		検討	検討	整備
第4節	「デジタルを活用した産業の活性化」を推進します	1	市内企業等のデジタル化、DXの推進	市内企業等がDXを推進するにあたり、必要な支援を受けるための相談窓口が分かりません。	市内企業等がDXを推進するにあたり、地域活性化起業者等の専門家による相談体制を整備します。	1	企業等が相談できる場の仕組みづくり	検討	検討	整備	拡大
				デジタルが役立つような分野について、市内企業等が取り組む際のバックアップ環境が不足しています。	市内企業等のデジタルによる解決事例のモデルケースを創出します。	2	とちぎデジタルハブとの連携	継続	継続	継続	継続
		2	AI・IoT・ロボットなどの最先端技術の利用促進	地域産業を活性化するにあたり、最先端のデジタル技術を導入するための関係機関・団体との連携体制がありません。	関係機関・団体と連携し、最先端技術を活用したスマート化を推進し、地域産業の活性化につなげます。	1	デジタル技術等による地域産業の推進	検討	整備	継続	継続
		3	オープンデータの推進	オープンデータの連携基盤システムが存在しません。	連携基盤システムを構築し、オープンデータを活用できるようにします。	1	オープンデータプラットフォームの構築	検討	整備	継続	拡大
				市が公開しているオープンデータが少なく、事業者等が必要な情報を活用できません。	オープンデータとして公開可能なもの洗い出し、整備及び公開を順次行います。	2	オープンデータの整備公開	整備	拡大	拡大	拡大

節	節名称 (基本方針)	細節	細節名称 (個別戦略)	現状	目指す未来 (特に期限の記載がない場合は、計画満了時)	細々節	細々節名称 (個別戦略の詳細)	スケジュール 検討: 検討、調査、準備など 整備: 導入、策定、工事など 継続: 現状維持で実施 拡大: 拡大して実施				
								整備	整備	継続	継続	
第4節	「デジタルを活用した産業の活性化」を推進します	4	データ活用や社会実験を促進するビッグデータの整備とプラットフォーム構築	文化スポーツ複合施設が未完成です。	令和5年12月完成、令和6年開業予定	1	文化スポーツ複合施設整備	整備	整備	継続	継続	
				文化スポーツ複合施設の未来技術の実装は、検討段階です。	令和6年度に完成予定の文化スポーツ複合施設にスポーツテックやヘルステックなどの未来技術を実装し、データ取得可能な環境を整備します。	2	文化スポーツ複合施設への未来技術の実装	整備	整備	継続	継続	
				既存の市の施設の未来技術の検討や、ビッグデータの整備も未着手です。	市の施設への未来技術の活用や、ビッグデータが得られる環境を検討・整備することで、施設の価値向上及び研究データの充実につながります。	3	既存施設の未来技術の活用	検討	検討	整備	継続	
		5	超高速通信環境の早期整備	矢板市において、5Gエリアが市街地でもほとんどカバーされていません。	令和5年度までに矢板市市街地における5Gエリアカバー、達成後はさらなる拡大を事業者に要望し、市内企業等のデジタル化の基盤を強化します。	1	矢板市における超高速通信環境の早期整備	検討	整備	拡大	拡大	
第5節	「新時代に対応した人財づくり」を推進します	1	市民に対する学びの提供	高齢者などデジタルに触れる機会が少ない市民に対して、デジタルの知識を身に着けるための学びの場がありません。	市が主催する出前講座を年2回以上実施し、市民のデジタルに関する知識の向上を実現します。	1	出前講座の実施	整備	継続	継続	継続	
				2	地域におけるデジタル人材の確保育成	スマートフォンの操作など、ちょっとしたデジタルのことに、気軽に相談できるところが限られています。	国のデジタル推進委員制度と連携して、地域デジタルリーダーの任命・研修を実施し、地域のデジタルの相談体制を整えます。	1	地域デジタルリーダーの育成支援	検討	検討	整備
		3	社会変革の中でも市民に必要とされる職員の育成	市役所のシステム調達について、効果的・効率的な提案ができる職員が不足しています。	システム調達ができる内部人材育成を進め、今後とも市役所のシステム運営の最適化を推進します。	1	デジタルの核となる職員の内部育成		検討	検討	整備	
				自治体DXのことに、職員が学ぶ機会がありません。	職員向けのDX研修を年1回以上実施し、デジタルリテラシー向上とデジタル側面の業務効率化の気づきにつなげます。	2	DX研修(職員向け)	整備	継続	継続	継続	
				職員がデジタルで悩んだ時の相談事例について、解決策の情報共有が不十分です。	相談事例の解決50%以上を目指します。また、解決事例について庁内への情報共有を行います。	3	デジタルお悩み相談室(職員向け)	拡大	拡大	継続	継続	
		4	GIGAスクール構想を通じたデジタル教育の更なる推進	児童生徒一人1台タブレット端末を配備し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けてタブレット端末を活用しています。	多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育のICT環境を実現します。	1	GIGAスクール構想の更なる推進		継続	継続	継続	継続
				市では、指導者用デジタル教科書やAI型ドリル、学校電子図書館などの学習に使うアプリを導入しています。	従来の学校教育と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の能力を最大限引き出せるようにします。	2	デジタル授業や教育に関する新たな取組の研究	継続	継続	継続	継続	